

★2017年パミール・中央アジア研究会 読書会のご案内★

- 日程 原則として奇数月第三木曜日午後6時より 年四回■
(偶数月には研究会例会があります。別案内を差し上げます)
- 誰でも参加できます。沢山質問して盛り上げて下さい■
- 参加費(会員外) 一回500円(会場代・レジメ代)■
- 場所 勤労者山岳連盟会議室 飯田橋駅より10分■

<http://www.jwaf.jp/profile/location/index.html>

◆読書会担当 本多海太郎 tel 046-873-5575 e-mail kaitaro@gol.com◆

もう一度読みたいあの本。埋もれてしまった名著。評判の高い新刊。
一人で読むには荷が重いこの本。パミール・中央アジアに関する好著
を、最適の読み人とともに繙く読書会

2017年5月18日(木)

【中央アジア自動車横断】

1931年、フランスの自動車シトロエンを使って地中海と黄海を結ぶ交通路の探検を試みた壮大な企て。東西両端から出発するも、カラコルムは自動車通行不能、中国側は日本との戦争や内乱の真っ最中、さて？

ル・フェーヴル著 野沢協・宮前勝利訳
西域探検紀行全集 13 1967 白水社
担当 本多海太郎



2017年9月21日(木)

【永遠のシベリア】(「知られざる大地」改題)

主人公チェルスキーは22年間、著者のセミョーノフは15年、訳者の加藤氏は5年間、いずれもシベリアで流刑生活を送った。そして三人とも地質、博物、民族、考古学者として、深くシベリアを探求した。

アルダン・セミョーノフ著 加藤九祚訳 1970 新時代社
担当 田村俊介



2017年11月16日(木)

【女性大使チベットに行く】

ラサに生まれ北京で育った漢族の女性が、1929年南京国民政府の使者としてダライ=ラマのもとへ赴く。新しい中国の建設を夢見る若き女性の情熱あふれる旅行記。

劉曼卿 岡崎俊夫・松枝茂夫訳 1986 白水社
担当 本多海太郎



2018年1月18日(木)

【イスマイル・ソモニ峰特集】

スターリン峰登頂記 E・A・ベレツキー 袋一平訳 1957 ベースボール・マガジン社 担当 田村俊介
レッド・ピーク ソ連最高峰登頂記 マルコム・スレッサー著 坂下心一訳 1970 白水社 担当 田村俊介
 Kommunism峰登頂時の写真 担当 近藤和美

パミールの最高峰へ、ソ連邦、英国、日本の三方向からの登山の物語。

